

KANAGAWA HOHYUH CLUB  
**神奈川県放友会**  
**Newsletter**



Vol. 8 No.3 .Jul. 2015  
 第 31 号

**神奈川県放友会**

〒231-0033 横浜市中区長者町4丁目9番地

ストーク伊勢佐木1番館 501 号

TEL 045 681 7573 FAX 045 681 7578

発行人 長谷川 武

発行日 2015年 7月 15日

## 「神奈川県放友会」の Step up のために

神奈川県放友会 副会長 早瀬 武雄

今年度の総会で、会費の徴収、NPO 法人を目指す「神奈川県放友会」が承認されました。

6月13日(土)平成27年度第1回理事会が開催され、新たな入会手続きをされた方64名、賛助会員個人1名、団体1社が承認されました。新たなスタートです。

解散した旧神奈川県放友会の目的は神奈川県放射線技師会会員のシニア組が、「会員相互の親睦と情報交換を図ると共に、21世紀の医療と福祉の向上発展に寄与することを目的に社会活動を行う。」ことでした。但し、ここで言う「21世紀の医療と福祉の向上発展に寄与することを目的に社会活動を行う。」とは、日本放射線技師会政治連盟の「診療放射線技師の声を政治の場に伝える」活動に、若干でも寄与する意味を含んだものでした。

政治は診療放射線技師の立場を左右させます。

平成12年4月の介護保険制度の導入に伴い、介護支援専門員(ケアマネジャー)は新たに創設された資格でしたが、診療放射線技師は受験資格が認められませんでした。これは組織活動の不備であり、乗り遅れてしまったのです。この介護保険制度が制定されて以来、介護の重要性は更に高まり、日本の高齢化社会における医療専門職の役割が明確になりつつあります。

診療放射線技師には在宅でのエックス線撮影は認められ介護と関わりはありますが、これからの高齢化社会で診療放射線技師の役割がどのようになるのか、未知の世界ですが、方向性を見出さなければなりません。

診療放射線技師の職能団体としては、「公益社団法人活動と政治活動」の両方とも大変重要なことだと思っています。旧「神奈川県放友会」は「神奈川県政に診療放射線技師の声を伝える」ために平成23年の統一地方選挙、そして今回の統一地方選挙において活動しました。しかし、神奈川県放友会独自の活動では何も生み出すことができませんでした。

その反省として診療放射線技師の将来のことについては神奈川県内の診療放射線技師が大同団結し、大きな力で活動しなければ県や国に声が伝わらないことを経験いたしました。

来年は参議院選挙です。「診療放射線技師の将来をどう考えるか」を技師会・地域放射線技師会連絡協議会・放友会の枠を取り除いて、新たな取り組みをどうしたらいいのか、じっくり話し合うことが必要だと思っています。

平成23年3月11日の東日本大震災による原発事故が発生以降、国民は放射線被曝に敏感です。医療被曝についても相当危険視しており、できれば避けたいと考えている人が多いようです。

この原発事故後、旧「神奈川県放友会」は、地域住民への「放射線の安全・安心に関する基礎知識」の啓発活動に力を入れた活動を行ってきました。この活動はこれからも引き継ぐべき使命と考えています。

神奈川県放友会のもう一つの活動である、「気楽に集まり「過去を語り、現在を語り、未来を語ろう」そんな「憩いの館」の情報交換場所の構想は会員の支持を得て、いろいろな企画が実施されました。

今では会の中心的な事業となっています。

今回の総会で、旧「神奈川県放友会」の7年5カ月の活動を踏まえ、「NPO 法人」を目指すために、「政治活動と赤字財政の問題」を「会として政治活動は行わない、会費を徴収する」ことで整理しました。

「神奈川県放友会」の活動目的を明確にすることで、会の将来が見えてきたと考えています。

更に、「NPO 法人設立を目指す神奈川県放友会」の Step up 事業を新たな目的として、一人でも多くの会員が「NPO 法人」の社会的評価を活用し、会員の自由な意見や趣味等を地域住民に公開してくださることを願っています。

突然、神奈川県放友会が「NPO 法人格の取得」を目標に掲げたことに公益社団法人神奈川県放射線技師会役員の皆様には何たる変貌と困惑されていると思います。

神奈川県放友会が財政・政治活動問題を整理させ会運営を円滑に行うためだにご理解ください。

今後とも公益社団法人神奈川県放射線技師会のご指導を得て活動して行きたいと考えています。

## 平成 27 年度 神奈川放友会 総会報告

会場 かながわ県民センター302 号室  
開催日 平成 27 年 4 月 18 日(土)13:00~14:00  
司会 村松理事 「ただ今より平成 27 年度 神奈川放友会総会を開催いたします。」

いただきますが、会員数の変更のみ一部を訂正いたします。会員数は 4 月 11 日現在、32 名の退会者がありましたので、114 名です。会議、放談会の開催及び事業活動については、資料の通りです。

### 1. 長谷川会長挨拶

平成 27 年度神奈川放友会総会にあたり、会長挨拶を申し上げます。

本会の創立は平成 19 年 11 月 17 日ですので、今日まで 7 年と 5 カ月を経ました。

会員登録は 3 月 7 日現在で 146 名を数え、会の活動も順調に執り行われ、Newsletter30 号までの発行と 3 度の出版物発行及び「講演と音楽の集い」や「文学探訪の史跡めぐり」・「競馬観戦」など、市民向けや会員向けのイベントを実行してきました。

特に、4 年前の東日本大震災に伴う東電原発事故により、放射線技師としての専門集団である我々「神奈川放友会」は、「放射線の安全・安心に関する基礎知識の社会啓蒙活動」の意義を認め、その社会的な活動をより Step Up しようとしております。しかし、会費無しの組織活動運営には、無理が生じてきました。役員の金銭的負担等があまりにも大きく、且つ、4 月からのメール便費用の増額等による負担増の為、本会を基本的に見直すことになり、理事会はこれまでの活動の延長線上で NPO 法人化を目標に、新しい神奈川放友会に生まれ変わろうと、いわゆるリニューアルした新しい「神奈川放友会」を立ち上げたいと判断いたしました。

今日の総会は、大変大切な総会ですので、慎重な審議をお願いいたします。

### 2. 総会出席報告 橋口副会長

会員数 4 月 11 日現在 114 名 出席者 18 名 書面評決者 85 名 合計 103 名 (90%) 「神奈川放友会会則 第 17 条 総会は、会員数の過半数の出席により成立する。」により、平成 27 年度の総会は「成立」しております。

### 3. 議長選出

会場からの立候補が無いようですので、早瀬氏を提案いたします。承認いただけますか。 **承認**

### 4. 議長挨拶 重要な議題が沢山ありますが、この会場 14:00 までしか使用できませんので時間内に審議が終わるようにご協力願います。

#### 第 1 号議案 平成 26 年度事業報告及び会計報告

執行部：総会資料の I をご参照ください。

大変恐縮ですが時間の関係から、詳細説明は省略させていただきますので、資料のとおり報告させて

#### 第 2 号議案 平成 26 年度監査報告

監事 草柳 伸彦

神奈川放友会会則第 11 条により平成 27 年 3 月 7 日に職務を実施したので報告する。

##### 1. 会計監査

今回の監査に関し、今までの運営は技師会、会員等の寄付、執行部の経費節約等にてなされており、わずかの購読料での活動には敬意を表します。

しかし、財源あつての運営ですので、事業形態を今一度見直されることと、購読料の名目よりも、会費徴収の方向をご検討されることを望みます。

##### 2. 会務監査

機関紙の発行は順調に行われ、中身の充実ぶりは、評価されるどころです。放談会、施設見学等のさらなる企画発展を祈願し、社会的信頼向上のために、事業計画の立案をお願いしたい。

また、会員数が増えるよう努力されたい。

第 1・2 号議案一括して審議いたします。質問・意見ありますでしょうか。なければ採決いたします。

出席者、全員賛成。書面評決者 85 名賛成。

よって承認されました。

#### 第 3 号議案 神奈川放友会の解散

#### 第 4 号議案 新「神奈川放友会」の設立 一括提案する執行部提案

「第 3 号議案：神奈川放友会の解散、第 4 号議案：新「神奈川放友会」の設立は関連のある議案ですので、同一議案審議を提案させていただきます。

##### 提案主旨

平成 27 年 3 月 7 日の定例理事会及び 4 月 11 日の臨時理事会において、監事の監査報告にある如く、財源があつての組織活動ですので、事業形態を見直して会費徴収に踏み切ることになりました。また、神奈川放友会の Step Up を図るために、現在の「神奈川放友会」を会則 28 条に則り「解散」し、同時に NPO 法人を目指す新しい「神奈川放友会」設立が審議されました。理事全員の賛成がありましたので、平成 27 年度本総会において「神奈川放友会の解散」を提案すると共に、会務監査が指摘する社会的信頼向上の為に、新しい「神奈川放友会の定款(案)」を添えて、神奈川放友会を NPO 法人格に衣替えして行くことを目標にした、社会的に評価される組織づくりを図りたいと願い、その中間過程としてのリニューアルした「新「神奈川放友

会」設立を提案いたします。

会員の理解と協力をお願いいたします。

#### 質問ご意見

- ・NPO 法人を目指すのに新たに事業等を行うのか。また、賛助会員を新設したがどのようなことなのか。
- ・前納している会費はどのように考えているか。

**執行部**・・・NPO 法人の申請は、横浜市、川崎市、相模原市、藤沢市に事務所を開設している団体は各市に申請、その他の市・町は神奈川県に申請する。会員はどこに住んでいてもかまわない。そして「神奈川放友会」の場合、横浜市の担当部署では現在行われている事業を市民に公開すれば、十分 NPO 法人の基準に当てはまるとのことでした。

- ・従いまして、特別な事業を行うことは考えていません。今の延長線で事業を行う予定です。
- ・賛助会員については当初考えていっていませんでしたが、横浜市のご指導で、議決権がない賛助会員制度を記載しておいたほうが良いと助言されましたので、設置いたしました。
- ・前納会費については、本日の提案が可決されましたら理事会で検討いたします。前納者については新たに追加徴収しないことも検討したいと考えています。

#### 第 3 号議案・第 4 号議案の採決をいたします。

**出席者全員賛成 書面評決者 82 名賛成 3 名反対**  
以上、提案通り承認されました。

#### 第 5 号議案 平成 27 年度事業計画及び予算案

総会資料のIVを参照してください。

新「神奈川放友会」として社会活動を考慮した任意団体から「NPO 法人格」に衣替えして、社会的に貢献する組織づくりを図って行くために、会員には義務と責任を理解して頂きながら、公益社団法人神奈川県放射線技師会の指導を仰ぎながら、粛々と準備を進めたいと思います。事業計画とその予算は資料の通りですが、会員の半減により会費収入は2分の1以下になるだろうと危惧いたしますが、会員の「義務と責任」を理解する会員集団で活動したいと願っております。よろしくご審議ください。

#### 第 5 号議案の審議を行います。

質問、ご意見等ありますでしょうか。ないようですので、採決いたします。

**出席者全員賛成 書面評決者 82 名賛成 3 名反対。** 以上、提案通り承認されました。

#### 第 6 号議案 役員選出

定款第 13 条第 1 項、この会に次の役員を置く。

選出役員 理事：5 名以上 15 名以内

監事：1 名以上 2 名以下

理事の候補者（平成 27 年 3 月 18 日現在）

長谷川 武・橋口 邦紘・早瀬 武雄

草柳 伸彦・村松 康久・小松崎真一

桜田 晃・小嶋 昌光・齋藤 節

千葉 良助

監事の候補者（平成 27 年 3 月 18 日現在）

中村 豊・石渡 良徳

以上提案いたします。

執行部からの提案について審議いたします。

**出席者全員賛成 承認されました。**

#### 第 7 号議案 その他

何かご質問、ご意見、ご提案等ありますでしょうか。

無ければ、すべての審議を終了いたします。

ご協力ありがとうございました。

議長を解任させていただきます。

#### 司会 これにて総会を終了いたします。

理事会からの報告をお願いいたします。

#### 長谷川理事

只今、臨時理事会を開催し、互選の結果で「長谷川理事が会長に決りました」報告いたします。

また、会長指名で、「橋口・早瀬・草柳の 3 理事を副会長に指名されました」以上報告いたします。

#### 新監事：中村 豊、新副会長：草柳 伸彦の就任挨拶

13：55 総会終了

会場を変えて「放談会」を開催いたします。

#### 総会出席者（18 名）

柳生 博・氏家 盛通・加藤 功・齋藤 明  
中村 豊・福田 利雄・高橋 実・上前 忠幸  
草柳 伸彦・日野 厚郎・櫻田 晃・小嶋 昌光  
小松崎真一・齋藤 節・早瀬 武雄・村松 康久  
橋口 邦紘・長谷川 武

#### 「放談会」 14：15～16：45

紅音～akane～情緒個室居酒屋

横浜西口店 045-322-0404

出席者 総会出席者と菊田 晴代(管理栄養士)が出席 18 名参加

開会挨拶 橋口副会長

乾杯 柳生相談役

近況報告等 出席者全員

閉会挨拶 草柳副会長

参加者より、「放談会」の企画を評価した発言があり、今年度定年等になられた人達との交流も必要であるとのご意見をいただきました。

# 医療被ばく減へ指標線量を決定

## X-CT 検査線量 病院で 10 倍差

日本診療放射線技師会の調査によると、コンピュータ一断層撮影法 (CT) による X 線検査で、患者の被曝する X 線の量が、同じ部位の検査でも医療施設によって 10 倍以上も差がある実態が分かったという。

また、一部の施設では患者が必要以上に被曝している可能性があり、国内の関係学会などを集めた「医療被ばく研究情報ネットワーク」(代表=米倉義晴・放射線医学総合研究所理事長) は 4 月 18 日、望ましい線量の目安となる参考値案を、横浜で開催された学会で討議された。

今後、各学会などを通じて周知を図るといふ。

CT 検査では、装置が体の周りをぐるりと回って X 線を照射するため、一方向だけからの単純撮影に比べて被曝線量が多く、他の放射線検査による被曝量全体の 4 割前後を占めるといわれる。

日本診療放射線技師会は一昨年、会員の診療放射線技師にアンケートを送り、約 300 施設分の回答を集計した結果によると、患者が被ばくする X 線量を示す CT 線量指標 (単位:mGy) は、次の表の通りであった。

表-1 日本診療放射線技師会の調査結果線量

| 検査部位  | CT 線量指標 (mGy) | 実効線量(mSv) |
|-------|---------------|-----------|
| 頭 部   | 12 ~ 150      | 約 5       |
| 胸 部   | 1.6 ~ 128     | 約 16      |
| 腹部・骨盤 | 0.9 ~ 40      | 約 27      |

全身への影響を示す「実効線量」を計算すると、最高で頭部は 1 回あたり約 5 mSv、胸部は約 16 mSv、腹部・骨盤は約 27 mSv と推定している。

施設間の大きな差は、日本診療放射線技師会などによると、照射線量は通常、装置メーカーの推奨値を基に各施設で決めているのが実態であるという。

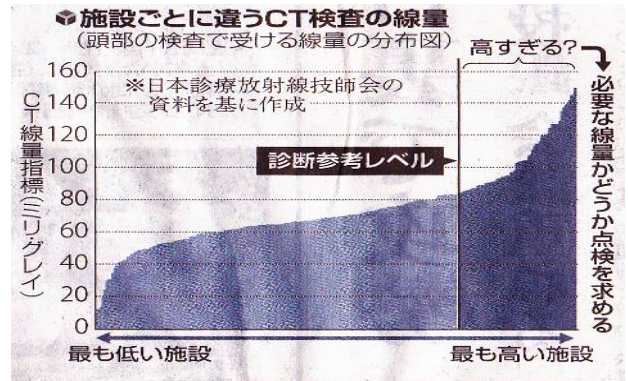
高い線量を必要とする特殊な検査もあるが、全体としては必要以上に高画質を得るために、高い線量に設定したままで、見直していないとみられる。

ネットワークの診断参考レベル案は、CT 線量指標を頭部 85mGy (実効線量は約 3 mSv)、胸部 15mGy (同約 8 mSv)、腹部・骨盤 20mGy (同約 15 mSv) とした。

CT 以外の放射線検査についての参考値案と合わせ、各学会などで検討のうえ、医師や放射線技師らに周知を図るといふ。

表-2 ネットワークの参考値(診断参考レベル)案

| 検査部位  | CT 線量指標 (mGy) | 実効線量(mSv) |
|-------|---------------|-----------|
| 頭 部   | 85            | 約 3       |
| 胸 部   | 15            | 約 8       |
| 腹部・骨盤 | 20            | 約 15      |



## 世界一の CT 普及率

1 回の医学検査で、私たちはどれくらいの放射線をうけるのだろうか。放射線医学総合研究所 (放医研) などによると、全身への影響の目安となる「事項線量」は、胸部 X 線撮影で 0.06mSv、胃のバリウム検査で 3mSv、コンピュータ一断層撮影法 (CT) 検査で数 mSv~30mSv くらいだという。がんのリスクが増すといわれる「100mSv 以上」よりは低い、10mSv を超えることもある CT の線量は、気になる人も多いだろう。

国連科学委員会の報告書でも、様々な種類の放射線診断による被曝全体のうち、約 4 割が CT 検査によるものと指摘されている。中でも日本は、人口あたりの CT 設置数が世界一多く、医学検査による国民全体の被曝線量も高めだといわれる。それだけ、被ばくを必要最小限に抑える注意が医療施設には求められる。

## 同じ検査でも施設で差 どう減らす

とはいっても、医療被曝の低減は一筋縄ではいかず、長年の懸案となってきた。診断の目的によって必要な画質のレベルは違う。高画質を得るには高い線量が必要という傾向があるが、同じ画質を得るのに必要な線量が、装置の種類によっても変わる。画一的な基準で規制できるようなものではないのだ。

そこで、国や地域ごとに実態調査をして、線量が低い方から順に並べ、まずは全体の約 75% に位置する線量などを「診断参考レベル」とする方法が、国際的に推奨されている。この場合、約 25% の施設がそのレベルを超える。それらの施設に「適切な線量か」「減らせないか」と点検を促し、過剰な被曝の削減につなげる。

欧米に比べて、日本はこうした取り組みが遅れていた。関係学会などを集めて 5 年前に発足した「医療被ばく研究情報ネットワーク」(事務局・放医研) が 4 月、初の参考レベル案をまとめた。その基になった実態調査では、同じ体の部位の検査でも、使われる線量は施設間で大きな差があることがわかった。必要以上に高い線量の施設も少なくないとみられる。6 月に正式決定後、各学会などを通じて参考レベルが周知されると、それを見て「うちは高めだ」と気づいた施設が、線量を再点検し、低減

を検討すると期待される。

「参考レベルは決して『上限』ではない。必要な場合は超えてよい」と強調する。線量を下げすぎて不十分な画質しか得られなければ、結果的に無駄な被曝となってしまうので、目指すのは、それぞれの診断に必要な画質が得られる、最低限の線量に抑えられることだ。

### 不安なら病院に相談を

自分の受信する病院では過剰に被曝しないのかどうか、患者が知ることはできるだろうか。

リスク情報の共有のあり方などに詳しい放医研の神田玲子博士は「被曝を気にしすぎて、必要な検査を避けるのは良くない。不安があれば『どのくらいの線量か』『検査を受けないとどんなリスクがあるか』などと、病院で尋ねてみてほしい。きちんと取り組んでいる病院なら、医師や技師がしっかりと説明してくれるはずだ」と話す。

秋田県横手市の「市立横手病院」は、様々な検査での被曝線量を掲示し、不安を感じる患者には丁寧に説明することになっている。藤原理吉技師長は「たとえば妊娠中の女性に『胎児に影響が出る線量はこれくらい。それに比べて今回はこんなに低い』と伝えることで、安心してもらえる」と話す。

日本診療放射線技師会は、過剰な被曝の防止や患者への説明に取り組んでいる「医療被曝低減施設」として、これまでに同病院など48施設を認定している。

現実には、検査での被曝について患者に十分説明する病院は、まだ多くない。もちろん最も大事なものは正確な診断だが、必要な検査だからといって幾らでも被曝してよいわけではない。参考レベルの設定を機に、「うちは被曝の低減にもこれだけ注意している」と積極的に説明する病院が増えてほしい。それが、『患者が安心して検査を受けられることにつながるはずだ。

医療被ばくの低減施設の一覧は、日本診療放射線技師会のウェブサイトで見られる。

<http://www.jart.jp/activity/teigenshisetu.html>

患者の被曝をどのくらいに抑えるのが望ましいのかの目安となる「診断参考レベル」を、関係学会・団体が合同でまとめ上げ、6月7日公表した。

### 医療被ばく減へ指標線量を決定

診断参考レベルとは、既に国際放射線防護委員会(ICRP)が1996年に導入を勧告しているものである。特に、CT撮影法の線量は、施設間で10倍以上の差があり、過剰な線量の施設が少なくないとみられていた。

今回の診断参考レベルは、「CT」、「一般撮影」、乳がんを調べる「マンモグラフィ」、歯科の「口内法撮影」、「IVR(画像下治療)」、放射性物質を体内に投与して行う「核医学」の6種類の検査が対象である。

全身への影響目安となる「実効線量」が累積100mSvを超えると、線量の増加に伴ってがんのリスクが少しずつ高まるといわれる。今回の参考レベルの線量ならば、成人のCT検査での実効線量は頭部で約3mSv、胸部で

表-3 診断参考レベル

| 検査の種類      |        | 指標線量レベル    |                 | 実効線量<br>mSv |
|------------|--------|------------|-----------------|-------------|
|            |        | mGy        |                 |             |
| C          | 成人頭部   | C          | 85              | 3           |
|            | 成人胸部   | T          | 15              | 8           |
|            | 成人腹部骨盤 | 線          | 20              | 15          |
|            | T      | 0歳頭部       | 量               | 38          |
| 5歳頭部       |        | 指          | 47              | 3           |
| 10歳頭部      |        | 標          | 60              | 3           |
| 胸部一般撮影     |        | 皮膚表面       | 0.3             | 0.06        |
| マンモグラフィ    |        | 平均乳腺線量     | 2.4             | 0.3         |
| 口内法X線撮影    |        | 成人 小児      | 1.1~2.3 0.7~1.3 |             |
| IVR(画像下治療) |        | 透視線量率(基準点) | 20mGy/min       |             |
| 核医学(核種を投与) |        | 各種の放射性薬剤   |                 | DRL(MBq)    |

\* DRL(診断参考レベル)

約8mSvに抑えられる。

### 放射線技師と連携がカギ

日本は、人口当たりのコンピューター診断撮影法(CT)装置数が世界一多く、医学検査による国民全体の被曝線量も高めだといわれる。正確な診断を下すのに役立つ一方で、必要以上に高い放射線量で検査する施設もある。その多くは、線量が高いことに気づいていない可能性が強い。7日公表された診断レベルは、「普通はこのくらいです」という線量を示し、各施設に「気づいて」もらうのが狙いである。カギとなるのは、病院内で検査を実際に担当する診療放射線技師と、検査を依頼する医師の連携である。

欧米に比べて遅れていた取り組みを、医療現場の熱意で加速してほしい。

参考レベルは強制力のある基準ではなく、各施設に自主的に検討してもらって参考値なので、対策を進めるには、医師と技師の連携が欠かせない。しかし、小さい施設では放射線科医がおらず、検査の判断をする内科や外科の医師は被曝リスクへの関心がしばしば低いといわれる。

また、CT装置の性能も被曝線量を左右するので、患者の体形に合わせてエックス線の出力をこまめに調節する「AEC」(自動露出制御)と、輪切り画像を作る際にノイズを減らす「逐次近似」という主に2種類の技術で、線量低減が近年進んでいる。

放射線医学総合研究所の神田玲子博士は「診断参考レベルの存在が知れ渡り、病院で『この検査の線量はどのくらいか』などと尋ねる患者が増えれば、医療現場も変わって行く」と期待する。

### 参考資料

- 1) 平成27年4月19日/5月8日/6月8・9日読売新聞
- 2) 最新の国内実態調査結果に基づく診断参考レベルの設定(案) 医療被ばく研究情報ネットワーク

## いわき浜通り地区で「語り部の体験談」を聞く

長谷川 武

平成 26 年 10 月 1 日(土)～2 日(日) “いきいきクラブ磯子” 秋の旅で、二日目に東日本大震災で被害を受けた「福島県いわき地域の久之浜地区・四倉漁港地区・小名浜地区」を訪ねた。

### 語り部

久之浜地区では「語り部さんによる体験談」を聞いた。語り部“鈴木玉江さん”(50 歳代の美人)による、大震災体験談を 2 時間近く聞き入った。また、浜風商店街での買い物にもお付き合いしてくれた。

久之浜地区の被災現場で、語り部さんが持って来た資料ビデオにより、地震と津波の久之浜地区の災害記録をバスの中で 20 分程見せられ、若干の解説を聞いた。

その後、復興工事が行われている現場を横切り、偶然にも津波に流されず残った秋葉神社の境内で話を聞いた。

この地区では、50 人の死者と行方不明者 14 名の被災者がいた。JR 常磐線久之浜駅より浜辺方面の街は、津波と火災で全滅状態であったと言う。しかし、現在のその場の風景では、一部復興が進んでおり大災害を感じにくかった。海辺に近い地域では復興工事が進められており、地域の人々の逞しさと苦勞を感じた。

### 四重の被災

原っぱで土地の整備が進められている中に、秋葉神社のみが残ったのは、“神の力”なのだろうか？ 現地を見れば一目瞭然で、どうしてこの神社のみが残ったのだろうか、首をひねることと思う。

また、久之浜魚市場周辺は 1メートル程の地盤沈下があったが、復興の手は入っていなかった。理由は、魚市場は公共施設でなく、魚業組合関係の施設なので、復興の手が入りにくいのだとの説明であった。

3 月 11 日の大地震と津波があった時に、たまたま魚市場に居合わせた高木ヨシオ市会議員が、港に停泊していた漁船を津波が来るから“沖へ出ろ”と先導したそうである。このお陰で、久之浜港の漁船の大半は災害を逃れました。と言われています。しかし、彼は港の船の避難を強いたが、本人は波に吞まれ遭難してしまったとのことです。・・・合掌。また、船は残ったのですが、次の災害が起きているのです。地震と津波で、浜や街は瓦礫やケガ人で難儀をしていたところへ、翌日の 12 日に福島第一原発の事故発生が起これ、放射能災害の避難命令が出ました。目の前にけが人を見ながら、「持つモノも持たず」に最小限で早く避難しろ！」の指示であったと言うのです。とにかく慌てて避難しなければならなかったのです。

更には、現在に至っても海の放射能汚染により漁獲操業ができず、二重三重四重の被災を受けております。

「この地区の人々は、原子力発電所反対であり、早く海を返せ！」と叫んでいます」と言うのが本音です。

と語り部の鈴木さんは語り、語り部を続けている理由は、「原発反対だから、実態を知って欲しい」と語りの最後

に、静かな低めの声で力説された。現在の久之浜地区は、特に生活の制限はされていないようですが、小学校の校庭などは放射能除染が行われており、住民の放射線被ばくに関する抵抗は厳しいものがあるそうです。現在の空中線量は 0.09mBq/h 程度であり、小学校の校庭ではこどもらは普通の学校生活をしている。しかし、親の対応は厳しく、こどもらを避難地域に住ませ、親が学校に送り迎えをしていると説明を受けた。



久之浜地区・秋葉神社

### アンチ放射線

校庭の前で、語り部さんと二人だけの話でしたが、「親は心配が過ぎている」「国が認める安全区域なのだから、もっと地域の生活を信じたい」とも言っていた。

「空中線量ではなく個人線量で管理されては？」と問いかけると、「その通りです」理屈ではなく、「アンチ放射線なのです」と話された。

空中線量の危険と安全性に納得はするが、「子どものことを考えると、安心できないとの判断」だと言う。

アンチ放射線に対する抵抗は、簡単には見放せないと言う。更に、生活の不便は街の破壊であり、商店街がなく日常生活に苦勞したため、仮設店舗による“浜風商店街”によって生活を助けて来たそうです。

被災地に於ける復興商店街を調べてみると、岩手に 15 商店街・宮城に 13 商店街・福島に 4 商店街があります。いわき市の久之浜「浜風商店街」は、大震災により壊滅したかつての久之浜商店街有志が、日本初の仮設商店街として再開していました。

### 農産物は安全

被災者の方々は“笑顔の絶えない笑店街”を目指しており、訪問者にはコーヒーサービスを提供しながら、「今日も元気で開店しています」と笑顔でした。

この商店街は観光用のお店ではありませんが、来訪者の支援を期待していました。しかし、土産物にしたい産物もほとんどありません。「福島産の農産物には放射能の心配はいりません。検査されておりますので安心です。絶対に安全です。保障します。」と言いながら 5～6 人のご婦人が「お土産にどうぞ!!」と勧めておりました。

自分は「福島こしひかりと羊羹」を買って、「放射能の心配はご無用」と同行者に勧めましたが、はじめは同行者の方々は反応が鈍かった。結果的には店頭にあったお米は完売され、他の品々も売れていた。

被災者へ、小さな支援をしたような気がした。

## 札幌の花見事情 (GW 編)

日本メジフィジックス株式会社 小林 みゆき

### 札幌での GW

神奈川県放友会の皆様、平素より大変お世話になっております。私日本メジフィジックスの小林と申します。

今回は私の故郷、札幌へゴールデンウィークに帰ってきましたので、そちらのお話をさせていただきます。

本州はかなり気温が上がっておりましたが、札幌も例年より暖かい日が続いておりました。そんな中、今年はずっとより早く梅も桜も咲いていると聞いたので、母と札幌市内の花見に出かけました。

まずは平岡公園という場所で行われている梅まつりを見に参りました。花は満開ではありませんでしたが、お土産屋のブースなどもあり多くの人で賑わっていました。特に梅ソフトクリームの販売は行列をなすほど人が集まっておりました。



平岡公園の梅林



紅色がかった見頃の花が咲いていた

全体で見ると少し枝がさみしい気もしましたが、1本1本を見るとこのようにしっかり咲いておりました。

沢山の大きな実が付くことを暗黙で祈った。

### 豊平川沿いの桜並木

その後、豊平川沿いの桜並木へも足を運びました。こちらはほぼ満開でございました。

お弁当や飲み物を持参しお花見されている方も多く見かけました。



ほとんどの木が満開でした！



久しぶりの札幌での桜を見た

本州ではもう散っていた花をまた見ることができ、とても新鮮な気持ちになりました。

5月の札幌は過ごしやすい気温で、ぜひご旅行などおすすめですよ。

### 百花繚乱の神奈川を楽しみたい

今年は神奈川の梅や桜をあまり見に行くことができませんでしたので、来年は三溪園や小田原城など県内の名所を訪問してみたいと思っております。

他にもお花見スポットをご存じでしたら、ぜひ皆様から教えていただきたいと思います。

神奈川の勤務がまだ浅いので、神奈川県放友会の皆様からのアドバイスを期待しております。

## みんなの広場

### ■ 神奈川県放友会ホームページ開設

平成 27 年度総会でリニューアルした神奈川県放友会は、ホームページを 7 月の開設を目指し準備中です。

### ■ 奥山 康男氏が教授に就任

駒澤大学大学院医療健康科学部の奥山康男准教授が、本年 4 月、駒澤大学大学院医療健康科学部の教授に就任しました。今後のご活躍とご指導を期待しています。

### ■ 平成 27 年度春の叙勲

#### 小林 淑高さん瑞宝双光章を受章

元川崎市立井田病院放射線科技師長の小林 淑高(65)さんが、平成 27 年度春の叙勲で瑞宝双光章を受章されました。受章おめでとうございます。

### ■ 官邸にドローン落下 セシウム検出

小型無人ヘリコプター（ドローン drone）のトラブルが続出しているが、4 月 22 日首相官邸屋上のヘリポート場で、ドローンが落下しているのが見つかった。

搭載されていた容器に放射能マークが貼られており、放射性セシウムが検出された。ドローンは全長約 50 cm、四つのプロペラ付きで、小型カメラが搭載され、長さ約 10 cm、直径約 3 cm の茶色の小型プラスチック容器が取り付けられていた。

容器には「RADIOACTIVE」と書かれたシールが貼られ、中には液体が入っていた。容器近くでの測定では 1  $\mu\text{Sv}/\text{h}$  が検出され  $^{134}\text{Cs}$  と  $^{137}\text{Cs}$  と確認されたが、容器を専門機関に持ち込んで液体の成分鑑定を行っている。

警視庁は 4 月 25 日に原発反対運動の一環として、「原発を訴えるために飛ばした」と福井県警小浜署に出頭した、無職山本泰雄を威力業務妨害容疑で逮捕した。

山本容疑者は昨年 10 月に九州電力川内原発上空でもドローンを飛ばしており、原発に傾倒しているという。調べによると山本容疑者の開設したブログから、「福島県の帰宅困難区域周辺に入り、無人の保管場所から汚染土を回収した」と記されていた。

国家の中枢が危険に晒されたことは、危機管理の重大な欠陥が露呈したので、教訓を生かして欲しい。



(図：2015/04/25 読売新聞より引用)

### ■ 東京・豊島の公園

#### 遊具付近で基準値超えの放射線を検出

東京都豊島区は、池袋本町の「池袋本町電車の見える公園」にある遊具付近で、毎時 480  $\mu\text{Sv}$  の放射線量を検出したと 5 月 23 日に発表した。区の基準値「毎時 0.23  $\mu\text{Sv}$ 」を大きく上回ることから、公園を立入禁止とした。

「公園に放射線量が高いところがある」という内容のメールが区に届いたため、区が調べたところ、滑り台などが組み合わさった遊具階段部分から、毎時 0.50～2.53  $\mu\text{Sv}$  の放射線量が測定された。

階段を外して再び測定すると、地面近くの数値が上がるが、他の場所の放射線量は基準値以下だという。

地中に埋まっている何らかの物質が、放射線を出している可能性があるという調査を進めている。

「放射線量は高いが、範囲が限られており、長くとどまる場所でもないため、現段階では深刻な健康被害が生じるとは考えにくい」と説明されている。

### ■ 森林の放射線物質

#### 「生活圏に飛散せず」

環境省は 6 月 15 日、東京電力福島第一原発事故で汚染された福島県内の森林から、近くの人家に放射性物質が飛散する可能性は低いとする調査結果を明らかにした。

調査は、森林の放射性物質が風などで生活圏に飛散するのではとの地元自治体から不安の声を受け、昨年 12 月～今年 3 月に実施、同県田村氏で森林から約 20 ㍎離れた 2 か所で、風向き、風速を測定し、空間放射線量の変化を調べた。

この結果、森林方向からの風の有無にかかわらず、放射線量は、国の目標値（毎時 0.23  $\mu\text{Sv}$ ・シーベルト）を下回る毎時 0.11～0.20  $\mu\text{Sv}$ ・シーベルトと、ほぼ一定だった。

（読売新聞 6 月 16 日 朝刊より引用）

### ■ 府中・函館競馬を楽しむ

府中・函館競馬を楽しむ企画が実行されて、5 月 10 日の恒例の東京競馬観戦&参戦には 13 名が参加し、6 月 19 日～21 日の 2 泊 3 日の函館見学と競馬場観戦&参戦には、3 組の夫婦参加を含めて、9 人の参加がありました。

競馬観戦は 5～6 年の恒例となっており、楽しい一時を楽しんだ。

#### 編集後記

☆ ★ ☆ ★

リニューアルした神奈川県放友会がスタートしているので、Newsletter の編集にもステップアップを求めていきます。ご支援とご指導をお願いします。